

行事名 関東・山梨ブロック林業研究 G コンクルール

日時 7月6日 13:00～ 7日 8:30～

場所 6日茨城・大洗 7日常陸太田市

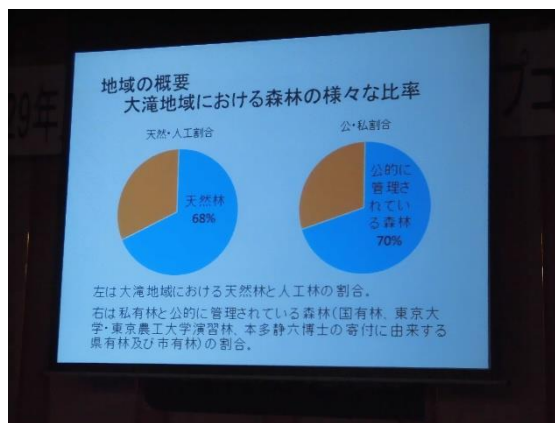
内容 研究発表と木質バイオマス発電見学会

コメント 全国林業研究グループ連絡協議会主催の関東・山梨ブロック林業研究 G コンクルールが8県の代表者による研究発表会が茨城県・大洗町 オーシャンビュー大洗で開かれた。群馬を代表して FG21 が参加した。会場では主賓が2時間程度遅れるやら、パソコンが古いのか動画と音声が入り混じるといふハプニングに会うという目にあいながら進められた。いろいろ反省点がある発表会ではあったが8県の代表者が発表した。FG21の発表にはパソコンと発表者の意気込みとがアンマッチして参加者に訴えることができなかった。タイトルは「厄介者の竹材は循環型バイオマスの優等生」はここでの発表は無念だが、日本フィランソロビー協会が窓口として株式会社カンポ保険が認めてくれて竹の有効活用に我々の研究が推進できる。林業関係者で竹はマイナーで有ることがわかっただけでもいいかと思う。

翌日、常陸太田市にある日立造船が2年前に作った木質バイオマス発電の見学会に参加した。間伐材を主としてバー人材を燃料とする発電所だ。日立造船とはごみ焼却場で日本の大手だが、バイオマス発電では未だいろいろ模索しているらしい。燃料が安定供給できればいいのだが。



オーシャンビュー大洗の会場



各県発表



FG21 発表



日立造船木質バイオマス発電所